## 分析結果報告書〔2〕 1/2

## 1 . 2 排水試料(BOD)

186.00 — 10		
機関コード		
機関名		
電話番号		
国際的な認証等の取得(複数回答可)	1 . ISO 9001~9003 2 . ISO/IEC 17025(ħ*	/L* 25) 2 M I A D
国际的な認証寺の取得(複数国合り)	1 . 130 9001 9003 2 . 130/1EC 17023()	11 20) 3 NILAF
	4 . 環境省が実施するダイオキシン類の請負	
	5 . (上記1~4を取得していないが)品質マ	'ネジメントシステム(QMS)を構築している
分析主担当者名		
分析主担当者の経験年数	( )年	
分析主担当者の実績	( )	
(年間の分析試料数)		
分析(主)担当者以外の分析結果の確認	1.あり 2.なし	
75 II. ( = /5 = = = 7		
回数	分析結果(mg/L) 注1)	
	検出下限値以上 注2)	検出下限値未満での検出下限値 注3)
400		快山下陸恒不河(の快山下陸恒 注3)
1回目		
2回目		
3回目		
	<u></u>	」 これの単位関連11年に注音する
た 1 / <u>- 三文禄ひに和木については、</u>	リエルのフとも支げ付けるとかのと、心外間は	いで千世间度い守に圧思する。
注2)検出下限値以上であった場合、		
注3)検出下限値未満であった場合、	第出ト限値を有効数字1桁で記入する。	
分析開始月日	月 日	
分析終了月日	月 日	
NINI   NINI	, , <u>H</u>	
分析方法	1 . JIS K 0102の21の方法 2 . その他 (	\
		)
使用した水	1 . 蒸留水 2 . イオン交換水 3 . 超純水	4 . その他( )
<希釈試料の調製に用いた希釈水>		
植種の有無(希釈水の種類等)	1. 植種あり(植種希釈水を使用)	
	2 . 植種なし(希釈水を使用)	
	3.その他()	
植種希釈水を使用した場合		
調製に用いた植種液の種類	1.下水(家庭下水、下水排水(処理水)又	(はその上澄み液等)
1月4年107日4・70日1日1里7人 V 7里大会	2 . 排水処理でのばっき槽水又はその上澄み	
		水伐守
	3.河川水	
	4 . 湖沼水	
	5 . 土壌抽出液(土壌と水の混合液の上澄み	<b>添等)</b>
	6. その他(	( 5 )
		)
調製に用いた植種液のBOD	( )mg/L 注4)	
希釈水への植種液の添加量	希釈水1000mLあたり( )mL	
注4)測定値を記入する。		
TE : ) MACIE CID/() 0		
<試料の前処理>		
#-V11 133/C	4 /- 4- 4-11	
前処理	1.行わない	
	2 . 行う その方法(	)
<段階的な希釈試料の調製>		
調製した希釈試料の段階の数		
	1 メフシ川ングー(左枠形)を使用して名	<u>-</u> 4D
希釈の方法	1 . メスシリンダー(有栓形)を使用して希	
	2 . メスフラスコ (全量フラスコ)を使用し	, C 布
	3 . 培養瓶で直接希釈	
	4 . その他の方法(	)
消化抑制	1.行わない	<i>I</i>
NH LC 1 Ah LD 1		,
	2 . 行う その方法(	)
1444 - 3.31		
_ < 培養の方法 >		
培養瓶の容量	( )mL 注5)	
恒温 (20±1 ) の方法	1.恒温器(恒温室) 2.恒温水槽	
	3.その他(	]
注5)異なった容量の瓶を用いた場合	には、概略の容量を記入する(例えば、103、	101、102mL・・・・では、100mLとする)。
		, -
<溶存酸素(DO)の測定>		
測定方法	1 . よう素滴定法 ( ウインクラー・アジ化ナ	トロウム恋法)
はいたノノム		1 ソノムタル /
	2.ミラー変法	
	3.隔膜電極法	
	4.その他 その方法(	)
L	1 :	ı

## 分析結果報告書〔2〕 2/2

<溶存酸素(DO)の測定:滴定法	(よう素滴定法)	又はミラー変法):	>(1回日の結り	未を記入りる)		
希釈段階 注 1 )	P	15分後の溶存面	後素の測定	5日後の溶存	酸素の測定	
,	注 2)	試料量(mL)	滴定量(mL)	試料量(mL)	滴定量(mL)	
	, ,		注3)		注3)	
			7207		1201	
		┣┎╓比がみ <i>キ</i> シᆇュ┰□≐┼±ジ	  ごレル=コ λ オマ	/ C F L 7比 士 土刀 ラ	2 担合にはた肌化士	ブ シュ オマ
注1)前記 <段階的な希釈試料の調	同袋~じ神袋した	段階的は布林武科	トことに配入りる	)(5段階を超ん1	の場合には3段階ま	で記入りる
注2)Pは希釈試料中の試料の占め	の割古(武科/布	「杯畝科)を示りし	ア個か入さい順	ひと記入りる)。	別んは、3段階布	れては、
1段階: P=0.04(25倍希釈)、2段	階: P=0.02 (50	) 治布狀)、3段階	: P=0.01 (1001	音布釈 ) の順の	よつに記入りる。	
注 3 ) よう素滴定法では25mmo l /Lチ	才ಯ酸ナトリワ.	ム浴液の滴定量(m	L)、ミフー发泡	<b>丟では硫酸アン</b>	'モニワム鉄( )	浴液(鈗酸
を水100mLに加え、これに硫酸アン	モニワム鉄(	) 六水杣物5.4gを)	答かし水を加えて	て1Lとしたもの	))の凋疋量(ML)	を記入する
測定記録(1回目)>		1 3 ± ± = 13 ± 1	,		T = /-	
希釈段階 注 1 )	P	溶存酸素(mg/L		溶存酸素の	BODの値	
	注2)	D1	D2	消費率(%)	注5)	
		(15分後の	(5日後の	注4)		
		溶存酸素)	溶存酸素)			
, 注1)前記 <段階的な希釈試料の調	田制 〜 で田制した	- 四形的 か 条 卵 計 約	」 ゴレロ記 λ オス	/5EUR比太 担ラ:	ᇽᆌᄼᄓᅥᆉᄄᄱᆙᆂ	で記りせる
/エ゚゚゚゚゚┣゚゚゚゚゚゚゚゚~ チスピႲ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	門表~ C 副表 U /C っ宝  今 / ≒+***! /2*	·FXP目□ソる布が叫べ	10.00に記入りる	1(34対性を超んな	の多口にはが以中の	しむハタる
注2) Pは希釈試料中の試料の占め	る割百(試科/布	が試料)を示り(	P 他か入さい順	に記入りる)。	別えは、3段階布	杯では、
1段階:P=0.04(25倍希釈)、2段	階:P=0.02(50	)	: P=0.01 (1001	台希釈 ) の順の	よつに記入する。	
注4)溶存酸素の消費率(%)は(口	D1 - D2)/D1×1	100として算出する	0			
注5)BODの算出に用いた希釈試	料(希釈段階)	こ該当する欄に値る	を記入し、他は	空欄とする。		
,						
< 測定記録 ( 2 回目 ) >						
希釈段階 注1)	P	溶存酸素(mg/L	.)	溶存酸素の	BODの値	
	注2)	D1	D 0			
	1/1 4 /	וטן	D2	消費率(%)	注5)	
	/1 2 /			消費率(%) 注4)	注5)	
	712)	(15分後の	(5日後の	消費率(%) 注4)	注5)	
	7127				注5)	
	71.2)	(15分後の	(5日後の		注5)	
	7127	(15分後の	(5日後の		注5)	
	71.2 )	(15分後の	(5日後の		注5)	
	11.2)	(15分後の	(5日後の		注5)	
	71.27	(15分後の	(5日後の		注5)	
i	112)	(15分後の	(5日後の		注5)	
: 		(15分後の 溶存酸素)	(5日後の 溶存酸素)	注4)		
2 3 4 5 × 測定記録(3回目)>	P	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素(mg/L	(5日後の 溶存酸素)	注4)	BODの値	
2 3 4 5 × 測定記録(3回目)>		(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素(mg/L D1	(5日後の 溶存酸素)   	注4) 溶存酸素の 消費率(%)		
2 3 4 5 5 ※測定記録(3回目)>	P	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素(mg/L D1	(5日後の 溶存酸素)   	注4) 溶存酸素の 消費率(%)	BODの値	
: 	P	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素(mg/L D1 (15分後の	(5日後の 溶存酸素)     D2   (5日後の	注4)	BODの値	
	P	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素(mg/L D1	(5日後の 溶存酸素)   	注4) 溶存酸素の 消費率(%)	BODの値	
: : : 測定記録(3回目)> : : : : : : : : : : : : :	P	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素(mg/L D1 (15分後の	(5日後の 溶存酸素)     D2   (5日後の	注4) 溶存酸素の 消費率(%)	BODの値	
測定記録(3回目)> 希釈段階 注1)	P	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素(mg/L D1 (15分後の	(5日後の 溶存酸素)     D2   (5日後の	注4) 溶存酸素の 消費率(%)	BODの値	
測定記録(3回目)> <sup>6</sup> 釈段階 注1)	P	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素(mg/L D1 (15分後の	(5日後の 溶存酸素)     D2   (5日後の	注4) 溶存酸素の 消費率(%)	BODの値	
測定記録(3回目)> <sup>6</sup> 釈段階 注1)	P	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素(mg/L D1 (15分後の	(5日後の 溶存酸素)     D2   (5日後の	注4) 溶存酸素の 消費率(%)	BODの値	
測定記録(3回目)> 5釈段階 注1)	P	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素(mg/L D1 (15分後の	(5日後の 溶存酸素)     D2   (5日後の	注4) 溶存酸素の 消費率(%)	BODの値	
測定記録(3 回目) > 希釈段階 注 1)	P	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素(mg/L D1 (15分後の	(5日後の 溶存酸素)     D2   (5日後の	注4) 溶存酸素の 消費率(%)	BODの値	
測定記録(3回目)> 希釈段階 注1) <試料の保存状況>	P 注 2 )	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素 (mg/L D1 (15分後の 溶存酸素)	(5日後の 溶存酸素) ) D2 (5日後の 溶存酸素)	溶存酸素の消費率(%)注4)	BODの値 注5)	
測定記録(3回目)> 希釈段階 注1) < <u>試料の保存状況&gt;</u> 保存状況 保存方法等	P 注 2 )	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素 (mg/L D1 (15分後の 溶存酸素)	(5日後の 溶存酸素)     D2   (5日後の	溶存酸素の消費率(%)注4)	BODの値	)
測定記録(3回目)> 所段階 注1)  < 試料の保存状況> 保存状況 保存方法等	P 注 2 )	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素 (mg/L D1 (15分後の 溶存酸素)	(5日後の 溶存酸素) ) D2 (5日後の 溶存酸素)	溶存酸素の消費率(%)注4)	BODの値 注5)	)
測定記録(3回目)> 希釈段階 注1) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	P 注 2 )	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素 (mg/L D1 (15分後の 溶存酸素)	(5日後の 溶存酸素) ) D2 (5日後の 溶存酸素)	溶存酸素の消費率(%)注4)	BODの値 注5)	)
   2   3   4   5   < 試料の保存状況 >   保存方法等   保存温度	P 注 2 )	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素 (mg/L D1 (15分後の 溶存酸素)	(5日後の 溶存酸素) ) D2 (5日後の 溶存酸素)	溶存酸素の消費率(%)注4)	BODの値 注5)	)
2 3 4 5 5 5 ※ 測定記録(3回目) > 系釈段階 注1) 2 3 4 5 <試料の保存状況 > 保存方法等 保存温度	P 注 2 )	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素 (mg/L D1 (15分後の 溶存酸素)	(5日後の 溶存酸素) ) D2 (5日後の 溶存酸素)	溶存酸素の消費率(%)注4)	BODの値 注5)	)
	P 注 2 )	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素 (mg/L D1 (15分後の 溶存酸素)	(5日後の 溶存酸素) ) D2 (5日後の 溶存酸素)	溶存酸素の消費率(%)注4)	BODの値 注5)	)
測定記録(3回目)>  所報解 注1)  <試料の保存状況>  保存方法等  保存温度  分析実施にあたっての留意した点及	P 注 2 )	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素 (mg/L D1 (15分後の 溶存酸素)	(5日後の 溶存酸素) ) D2 (5日後の 溶存酸素)	溶存酸素の消費率(%)注4)	BODの値 注5)	)
測定記録(3回目)>  所取段階 注1)  <試料の保存状況>  保存状況 保存方法等  保存温度	P 注 2 )	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素 (mg/L D1 (15分後の 溶存酸素)	(5日後の 溶存酸素) ) D2 (5日後の 溶存酸素)	溶存酸素の消費率(%)注4)	BODの値 注5)	)
:	P 注 2 )	(15分後の 溶存酸素) 溶存酸素 (mg/L D1 (15分後の 溶存酸素)	(5日後の 溶存酸素) ) D2 (5日後の 溶存酸素)	溶存酸素の消費率(%)注4)	BODの値 注5)	)